



スポーツ  
ともだち  
仲間たち



Saitama Junior Sport Clubs Association



NO.61



PICKUP PHOTO

上段：蓮田空手道クラブ

下段：(左から) 浦和大谷口サッカー

スポーツ少年団 / 所沢林ク  
ローバーズ

## ■ スポーツをする場所をつくる

スポーツには「する」「見る」「支える」といくつかの形態があります。「見るスポーツ」はプロやアマチュアの充実により、徐々に定着してきています。しかし、「するスポーツ」はどうでしょう。中高年のスポーツ熱の高まりは年々盛んになって来ていますが、その一方で体力の二極化が叫ばれる子どもたちの半数以上は、運動に関わらないと言われています。そのような子どもたちにスポーツの場を提供し、その楽しさを味わわせることはスポーツ少年団の役割の一つといえるのではないかでしょうか。

近頃少年団の「勝利至上」化傾向が見られると言われています。それでは、全ての子どもを受け入れることはできません。ここで今一度スポーツ少年団の原点（一人でも多くの青少年にスポーツの欲びを提供する）に立ち返って、子どもたち誰もがスポーツに親しむことができる場を提供できれば、少年団の果たす役割の重要性がさらに増すことでしょう。

## 特集

◎ ジュニア  
リーダー  
スクール

見聞録

## ◎ 運動適性テスト II

- ・ 日本スポーツ少年団表彰
- ・ 埼玉県スポーツ少年団表彰
- ・ 埼玉県スポーツ少年団 60周年記念事業
- ・ 60周年 スポ少フォト&我が団自慢

埼玉県スポーツ少年団だより

2022年（令和4年）12月23日発行



本紙はスポーツ振興くじ助成金を受けて作成しております。



動き出そう  
スポーツと  
地域の未来  
埼玉県スポーツ少年団



未来のスポーツ少年団を背負う  
33名のジュニア・リーダーが誕生

## ジュニア リーダー<sup>ス</sup>スクール **見聞録**

日の日程で開催されていますが、今年度は、コロナの影響で日帰り2日間の変則的な研修となりました。

このスクーリングは、日本スポーツ少年団および都道府県スポーツ少年団が、リーダーの資質向上を図るとともに、将来のスポーツ少年団指導者の育成を目的として開催しているものです。

研修内容は、「スポーツ少年団とは」・「スポーツ少年団のリーダーとは」・「活動プログラムの実践（スポーツ活動・交歓交流活動・集団生活・集団行動など）」・「話合い活動」を含む20時間以上のプログラムとなっています。

### 実際の活動内容

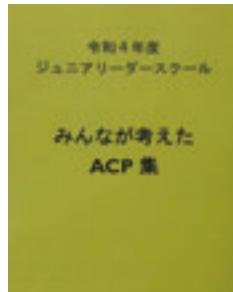
21日前半では、初日の「アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)」の講義を受けて自分たちで考案したプログラムを参加者に披露する時間でした。班ごとに披露するプログラムを検討し、短い時間で準備を進めていました。みんなの前で説明する受講生は緊張を隠せない様子でしたが、聞く側の温かい対応もあって、みんな楽しく生き生きと活動していました。

自分たちで考案した ACP をまとめた冊子。一番の「宝物」として持ち帰りました。

『リーダーを育てよう！』の第3弾として、今回は8月19日・21日に開催された「埼玉県ジュニア・リーダースクール」を紹介します。例年、2泊3

昼食後の活動は、「今後のリーダー活動について」中野先生自らのリーダー活動をエピソードや当時の考え方や感情を織り込みながらわかりやすく語られていました。ジュニア・リーダースクール後の目標であったり、それがどんな魅力待っているのかであったりと受講生の活動の意欲を高める内容でした。

講義の後、班ごとに話合いを深めてきました。もっとも印象に残ったのが、「中学生はなぜ団活動に参加しないのか」という問い合わせに対する答えでした。「部活動が忙しい」「勉強が忙しい（テスト前）とともに、『関係が薄くなり行きづらくなった』『中学生になつたら、指導者が他人行儀』という声も多くあり、『卒団』の悪影響、『受け皿』になっていない、『居場所』がないという中学生たちの切実な声がありました。



## 受講生へのアンケート結果



### 1. このスクーリングに参加したきっかけは？

- |                   |     |
|-------------------|-----|
| ア. 自分からすすんで       | 9人  |
| イ. 監督・コーチ・先生に言われて | 11人 |
| ウ. リーダーに言われて      | 1人  |
| エ. 友達にさそわれて       | 5人  |
| オ. 親に言われて         | 6人  |
| カ. その他            |     |

### 2. 今の正直な気持ちを教えてください。

- |              |     |
|--------------|-----|
| ア. 楽しみにして来た  | 13人 |
| イ. 不安な気持ちで来た | 13人 |
| ウ. しかたなく来た   | 3人  |
| エ. その他       | 3人  |

### 3. 所属するスポーツ少年団の活動にはどのような役割で参加していますか。(複数回答可)

- |                 |     |
|-----------------|-----|
| ア. 小学生団員と同じ立場   | 20人 |
| イ. 小学生団員の相談相手   | 4人  |
| ウ. 小学生団員を指導する立場 | 16人 |
| エ. 団の活動計画を立てる立場 | 2人  |
| オ. その他          | 7人  |

### 4. 「スポーツ少年団」がどのようなものだかわかりましたか。

- Y. はい 32人 N. いいえ 0人

### 5. 望ましい「リーダー」の姿がつかめましたか。

- Y. はい 32人 N. いいえ 0人

### 6. 「リーダー」としての自覚・意識は高まりましたか。=スクーリング終了後、リーダーとして意欲的に少年団活動に取り組む。

- Y. はい 29人 N. いいえ 3人

### 7. 将来、指導者としての少年団活動を考えていますか。

- Y. はい 18人 N. いいえ 14人

### 8. このスクーリングに参加してよかったです。

- Y. はい 31人 N. いいえ 1人

## 受講生の声



→ 出会うはずのなかったスポーツをやっている仲間と出会え、講義などを通してジュニア・リーダーやリーダー会のことを知ることができ今後の活動が楽しみになりました。

→ 「3つの講義や ACP の活動を通してリーダーとしての意識が高まり、積極的に団活動に参加したいと思うことができました。」

→ 「知っている人がいない中での参加で不安な気持ちしかなかったけれど、同じ時間を過ごしていくにつれ、班内の人や違う班の人とも意見交換して仲良くなることができました。このスクールでリーダーの大切さに気付くことができました。」

→ 「今後、シニアリーダースクールやリーダー会にも参加し、できれば、団員としてドイツにも行ってみたいと思いました。」

全日程終了後、運営責任者である中野指導者・リーダー育成委員会委員長にお話を伺いました！

Q1

埼玉県のジュニア・リーダースクールの特色を教えてください。

参加資格を中学生としているところです。

Q2

なぜ、中学生にこだわるのですか。

本県のプログラムは、講義とともに、参加者が主体的に活動する実践活動やグループ活動を大切にしています。そのような活動を通して、リーダーとして必要な素養を身に付けてもらいたいからです。また、ジュニア・リーダースクールのスタッフであるリーダーたちとの年齢が近いことで、リーダーの「手本」として身近な存在としてとらえることができる。実際のリーダー活動までの時間的な空白をなくせることから、参加資格を中学生にしています。

Q3

修了生にはどのようなことを期待しますか。

将来、指導者として自分の子供や近所の子供たちにスポーツの楽しさを教えてほしい。

Q4

指導者へ向けてメッセージをお願いします。

これまで、このスクーリングに参加したことのない団からの参加を待っています。そして、「卒団」をやめてリーダーが大勢活動している団づくりをお願いします。

# Grow with スポーツ少年団

リーダーや指導者の育成を行う目的で、毎年以下の「日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール」や「全国スポーツ少年大会」などのプログラムも開催されています。今回は、今年の8月に鹿児島で開催された「全国スポーツ少年大会」に参加した2人の団員からコメントをいただきましたので紹介します。



## 日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール

リーダーの資質向上をはかるとともに、将来のスポーツ少年団指導者の育成を目的として公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団主催のもと年に一度開催してされます。

参加者は各都道府県スポーツ少年団の推薦を受けた皆さんで、全国より有望なリーダーが毎年多数参加しています。

\*例年は国立中央青少年交流の家（静岡県）にて開催しておりましたが、令和4年度については新型コロナウィルスの感染症予防のためオンラインにて開催いたしました。



## 全国スポーツ少年大会

全国都道府県代表の団員及び指導者が参加して集団生活を行い、スポーツ活動・文化学習活動・野外活動・交歓交流活動等を通して、青少年のこころとからだを育てるとともに、スポーツ少年団活動をより一層促進し、地域における活動の活性化を図ることを目的として各都道府県スポーツ少年団が持ち回りにて開催しております。また、全国スポーツ少年大会はリーダーの育成を考慮したスポーツ交歓交流大会でもあります。

\*令和4年度は鹿児島県スポーツ少年団及び日本スポーツ少年団主催のもと開催されました。

## 全国スポーツ少年大会に参加して



全国スポーツ少年団大会では様々なことを学ぶことができました。私は初めて県外のスポーツ少年団大会に参加することができ、色々な都道府県からきた方々と沢山話すことが出来ました。その中でもグループの方々とは多くの体験を通して仲良くなれただとおもいます。グループをまとめたりなど周りからも助けてもらいながらリーダーらしい事やスポーツの文化、交流を学べて、参加してよかったですと思える交流活動でした。

さいたま市本太スパークルミニバスケットボールスポーツ少年団 早坂七美

私が、スポーツ少年大会に参加したのは計5回目です。その中でも、この60回大会は特に思い出となりました。スポーツ少年大会では普段学ぶことができないようなことをたくさん学ばせていただけます。私はこのスポーツ少年大会を通じて、今までとは異なる自分にたくさん出会いました。私が思うスポーツ少年大会の1番の醍醐味は私と同じようなスポーツ好きの仲間と県をまたいで関わり合えることだと思います。たくさんの仲間と新たな出会いをし、お互いが磨かれ合い、私は身体的だけでなく、精神的にも学ぶことができたと思います。

また、このスポーツ少年大会でつながった仲間と一緒に忘れる事のできない最高の思い出が作れてとても良い大会でした。

さいたま市本太スパークルミニバスケットボールスポーツ少年団 三ツ井碧空

# 運動適正テストⅡ

Good  
Feedback

運動の評価は、  
「量」と「質」の視点で  
考えよう。

令和4年11月5日、スポーツ総合センターアリーナにおいて、運動適性テストⅡ普及研修会が開催されました。

令和2年に新たに策定された運動適性テストⅡは、一生涯にわたりスポーツ・運動を楽しむ子どもたちの体力測定としてふさわしい内容です。

いつでも、どこでも、特別な器具を必要としないで体力測定ができ、発育発達期の子どもたちに、スポーツや運動の適性を評価する方法として、動きの「量」や「質」の評価が新たに加えられています。これにより、身体のコンディショニングを把握することで、ケガの予防にもなり、さらには子どもたちの体力を知ることでこれからの指導・活動に活用することもできるという効果があります。

## 運動適正テストⅡの特徴

- コンセプト 一生涯にわたってスポーツや運動を楽しむという観点から、特に発育・発達期の子どもの身体の動き、スポーツや運動の適性を評価するテスト
- 測定内容 ① 動きの「量」に加えて、動きの「質」を評価（「どれだけ」に加えて、「どのように」に注目）  
② 「今の自分の身体状態を知り、ケガの予防につなげる」ことを目的とするコンディショニングチェックを行う

### 量的評価のテスト項目

- 50m走
- 5m 時間往復走
- 立ち幅とび
- 立ち3段とび
- ボール投げ（ソフトボール）
- 20m シャトルラン
- 腕立て伏せ
- スポーツ外傷・障害の予防につながるコンディショニングチェックシート

### 質的評価のテスト項目

- 50m走
- 立ち幅とび
- ボール投げ（ソフトボール）

運動の基礎的な動きである『走・跳・投』のフォームを観察した、質的な評価（3段階：A・B・C）を行います。

『量』と『質』の二つ視点で運動を評価し、子どもの発達に応じた効果的な指導法を探すことが大切です。

※6～11歳（小学生）の内容を抜粋し、掲載しています。

## 動画で解説！運動評価のポイント



力強く地面をキックし前に進み、腿を上げ、歩幅を大きく、腕は前後に大きく振る。



全身を使って力強く投げ、ステップ脚を前に、上半身はひねって体重移動し腕はムチのように振る。



両足で力強く跳ぶ、膝と腰はよく曲げ、タイミング良く、身体全体を大きく前傾して両足で着地。

運動適性テストⅡに関する資料や動画は、右記の日本スポーツ協会ホームページからご覧ください。  
「動画を見て子どもに指導を行う」ということを繰り返し、評価とフィードバックの質を高めましょう。





# AWARD

令和4年度に「日本スポーツ少年団顕彰」及び「埼玉県スポーツ少年団表彰」を受賞した皆様を紹介します。

「日本スポーツ少年団顕彰」は、永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある方及び市町村本部が、選出されます。「埼玉県スポーツ少年団表彰」は、埼玉県及び県内市町村において、スポーツ少年団の育成に尽力している方が表彰されるものです。

## 令和4年度 日本スポーツ少年団顕彰

### 表彰登録者



**【サッカー】山崎 芳和**  
JFCときがわスポーツ少年団(ときがわ町)



**【サッカー】粟野 活夫**  
東鶯宮 FC スポーツ少年団(久喜市)



**【バスケットボール】鹿島 光明**  
リベロ狭山スポーツ少年団(狭山市)



**【バレーボール】荒井 年和**  
総合型地域スポーツクラブBAGUS(川口市)



**【ソフトテニス】大沼 久実**  
皆野ソフトテニススポーツ少年団(皆野町)



**【県本部】田中 一光**  
埼玉県スポーツ少年団

### 表彰市町村

- ◆ さいたま市スポーツ少年団
- ◆ 新座市スポーツ少年団
- ◆ ときがわ町スポーツ少年団
- ◆ 吉川市スポーツ少年団
- ◆ 美里町スポーツ少年団

## 令和4年度 埼玉県スポーツ少年団表彰

### 表彰者

#### 【南部ブロック】

◆さいたま市:田村 洋・清水 政宏・新井 規央・森 仁志・長谷川 勉・羽富 竜夫・新井 英樹・小熊 重雄・北方 浩・河添 義浩・細川 次男・赤羽 香織・坂本 祐史 ◆川口市:原 和紀・大島 正行・富田 裕二・森川 欣治・小木 正人・鯨井 千恵・杉村 康 ◆草加市:佐藤 政治・佐々木 友昭 ◆蕨市:堀井 経昭◆戸田市:須田 真司 ◆新座市:奥根 克彦 ◆和光市:清水 計彦・並木 孝夫 ◆上尾市:菊池 信雄・田代 哲 ◆桶川市:五島 一則

#### 【西部ブロック】

◆川越市:吉敷 賢一郎・坂本 幹夫・永島 義明 ◆所沢市:新妻 かおり・後藤 栄 ◆飯能市:倉掛 富幸・石田 智昭 ◆狭山市:中里 圭司・磯中 克哉 ◆富士見市:加納 穎紀 ◆坂戸市:徳留 美佐保 ◆鶴ヶ島市:原野 隆弘 ◆日高市:菊池 武彦 ◆毛呂山町:白石 一起 ◆越生町:長島 和明 ◆東松山市:岡野 邦雄・馬場 信之 ◆小川町:上條 正義 ◆嵐山町:関根 一樹 ◆川島町:山崎 裕 ◆吉見町:宅間 裕次 ◆鳩山町:長岡 晃広 ◆滑川町:宮島 道夫 ◆ときがわ町:吉野 貴志 ◆東秩父村:神谷 真一

#### 【北部ブロック】

◆秩父市:太幡 紀明・岩田 茂 ◆横瀬町:八木原 宏明 ◆本庄市:堀内 瞳夫・須永 剛正 ◆上里町:茂木 一美 ◆美里町:秋山 晓 ◆神川町:中原 孝 ◆熊谷市:根本 義人・高橋 正実 ◆深谷市:小暮 丈弘・河田 輝夫 ◆寄居町:波多野 隆史

#### 【東部ブロック】

◆行田市:西村 和宏 ◆加須市:渡沼 伸二・阿部 正 ◆羽生市:蘿井 昇 ◆春日部市:福崎 菊夫・森 弘幸・我妻 敏明 ◆越谷市:大澤 弘次・濱島 エイ子 ◆久喜市:阿部 秀夫・加藤 雅彦・石田 哲也 ◆八潮市:富田 忠彦・大柴 幸一 ◆三郷市:坂本 喜一郎・内田 守 ◆蓮田市:吉田 佳子 ◆白岡市:野末 光弘・宮家 乙男 ◆宮代町:柳武 正則 ◆杉戸町:開 和久



## 埼玉県スポーツ少年団 60周年記念事業

### キャッチコピーとロゴの策定

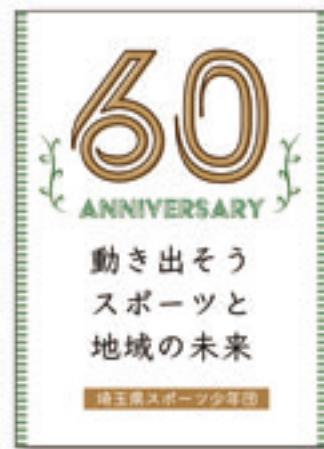
埼玉県スポーツ少年団は、今年度『創立60周年』を迎えました。

これまでも、スポーツ少年団が掲げる理念をとおして、目指す未来を共有してまいりましたが、予測不可能な変化の時代の中で、新たに想いを一つにして進んでいく必要があることから、右記のとおり60周年のキャッチコピーとロゴを策定いたしましたのでお知らせします。

#### キャッチコピー

『動き出そう スポーツと 地域の未来』

引き続き、埼玉県スポーツ少年団活動への理解とご協力をお願ひいたします。



数字の「60」は木の年輪をイメージし、スポーツ少年団がこれまで積み重ねてきた歴史と伝統を表している。

### 記念式典の開催について

埼玉県スポーツ少年団60周年記念式典

日程：令和5年2月19日（日）

時間：式典 14:00～16:00（予定）

会場：ウェスタ川越 多目的ホール

その他：例年12月に実施している日本スポーツ少年団表彰及び埼玉県スポーツ少年団表彰も60周年記念式典と併せて実施致します。

## すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、  
日本のスポーツを育てるために  
使われています。



くじを買うはエールになる

**スポーツくじ**



スポ少フォト  
**募集中**  
我が団自慢

## スポーツ少年団の思い出を冊子に掲載しませんか。

今年で 60 周年を迎えることとなった埼玉県スポーツ少年団では、現在 60 周年事業の一つとして、記念誌の作成を進めています。そこで今回は、本情報誌の表紙と併せて 60 周年記念誌掲載用の写真と、特徴的な活動をしている「我が団自慢」の作文も公募することとなりました。子どもたちとの思い出を、記念に残る形で掲載してみませんか。

60周年記念誌または  
3月情報誌用  
**スポ少フォトの応募**

- 撮影した写真データを、県スポーツ少年団事務局宛に電子メールで送付してください。なお、メール本文には、以下タイトルと①～④の必要事項をご記入ください。
- 写真は現在のものでも、過去に撮影したものでも構いませんが、写っている方に許可をとって応募をお願いいたします。
- 掲載写真は、埼玉県スポーツ少年団で選定し、情報誌または 60 周年記念誌に掲載させていただきます。

60周年  
記念誌用  
**我が団自慢の応募**

- レクリエーションなどの特徴的な活動を行い、子どもたちの「こころの成長」や団としての「地域とのつながり」をつくっている活動を募集しています。
- 活動の様子が分かる写真と併せて、300 字程度の原稿を県スポーツ少年団宛に電子メールで送付してください。なお、本文には以下の①～⑤の必要事項をご記入ください。※記念誌掲載に当たり、詳細をお伺いする場合があります。

メールタイトル **スポ少フォト&我が団自慢申し込み**

**必 要 事 項** ①市町村名 ②単位団名 ③団代表者氏名 ④写真タイトル  
⑤300字程度の原稿（メール本文またはワードなどでのデータ添付 **※我が団自慢の応募者のみ**）

県スポーツ少年団事務局

saitamaken@japan-sports.or.jp

- 応募する写真データの容量は 3 メガバイトまでとしてください。
- 掲載が決定した写真および我が団自慢の応募者にのみ、掲載決定のご連絡をさせていただきます。
- 応募写真等の著作権は埼玉県スポーツ少年団に帰属し、本情報誌または 60 周年記念誌での掲載に使用させていただきます。